

笑顔と元気あふれる住みよいまち田布施

たぶせ

THE TABUSE ASSEMBLY NEWS

議会だより

第150号



題字は岸 信介先生書

2021年(令和3年)7月23日

発行/〒742-1592 山口県田布施町大字下田布施 田布施町議会 ☎0820(52)5800 FAX0820(52)5970

編集/ 議会広報委員会 印刷/ キッショウ株式会社 <http://www.town.tabuse.lg.jp/> E-mail:gikaijimukyoku@town.tabuse.yamaguchi.jp



何が釣れるかな (麻里府漁港)

6月30日、東田布施小学校の6年生44人が、鹿の骨で作った釣り針で魚を釣る体験授業を行いました。ボランティア20人も参加し、見守り指導を行いました。

6月定例会・4月臨時会	2P
委員会レポート (総務文教・経済厚生)	3P
10人の議員が町政を問う	4P
議会だより 149号を読んだ感想	14P
発見! クイズたぶせ?	15P
150号を発刊	16P



▲携帯で簡単に議会のホームページにアクセスできます

ホームページの「議会だより」は、表紙がカラーとなります。

6月定例会

一般会計予算3,130万円増額
子育て世帯生活支援特別給付金事業1,530万円

4月臨時会

一般会計予算1億2,392万円増額
地域応援商品券 子育て応援商品券

(1人3千円)

(18歳までの子ども1人1万円)



本会議 (6月8日)

令和3年6月定例会は6月8日から9日間の日程で開かれました。本定例会では町長報告2件及び、一般会計補正予算1件、特別会計補正予算3件、条例3件、人事1件を審議しました。なお、初日の本会議では10人の議員が一般質問を行いました。

町長報告

○繰越明許費(一般会計) 3億1516万円

○繰越明許費(下水道事業特別会計) 2846万円

町長提出議案

令和3年度補正予算

○一般会計

歳入歳出それぞれ3130万円を増額し、予算総額を63億8522万円とするものです。【賛成多数】

○特別会計

○国民健康保険

7万円を減額し、予算総額を18億6372万円とするものです。【全員賛成】

○介護保険

2万円を減額し、予算総額を15億8320万円とするものです。【全員賛成】

○後期高齢者医療

1万円を減額し、予算総額を3億936万円とするものです。【全員賛成】

条例

○田布施町個人情報番号及び特定個人情報保護に関する条例の一部改正について

デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴うものです。【全員賛成】

○田布施町使用料及び手数料条例の一部改正について

デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴うものです。【全員賛成】

○財産の取得について

小型動力ポンプ積載車を1台、739万円で購入することに伴い、議会の議決を経るものです。【全員賛成】

人事

○固定資産評価審査委員会委員の選任について

林健治氏の任期満了に伴い、新たに岡村誠士氏を選任することに同意するものです。(任期は7月1日から3年間) 【全員賛成】

専決処分

令和3年4月臨時会が4月27日に開かれ、専決処分3件、令和3年度補正予算1件の町長提出議案を審議しました。

○令和2年度田布施町一般会計補正予算(第9号)議定について

227万円を減額し、予算総額を8億2295万円とするものです。【全員賛成】

○田布施町税条例等の一部を改正する条例

地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴うものです。【全員賛成】

○田布施町都市計画税条例の一部を改正する条例

地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴うものです。【全員賛成】

令和3年度補正予算

○令和3年度田布施町一般会計補正予算(第1号)議定について

1億2392万円を増額し、予算総額を63億5392万円とするものです。【全員賛成】

総務文教

総務文教委員会を6月14日に開き、令和3年度一般会計補正予算1件、条例1件を審査しました。



総務文教委員会(6月14日)

補正予算

令和3年度補正予算

●一般会計

Q 時間外勤務手当の307万5千円増額は、ワクチン、給付金の関係と思うが、もう少し圧縮できないか。

A 今後、ワクチン対応で土日とローテーションを組むが、有休をとれていない職員も多い。職員は余力がない状態で業務を行っている。財源はほとんどが国費で賄える。

Q 奉仕活動事故見舞金20万円増額は。

A 町内一斉清掃の時に、2件の物的な見舞金を支払う事例があったため。

Q 自治会でかけている保険以外に、こちらからも出せるということか。

A 見舞金なので、保険で出すものとは意味合いが違う。支払うことができる。

Q コロナでイベント等が実施できなかった案件が多いと思うが、未執行分の補正はいつ行うのか。

A 9月補正で対応する。

Q 給与費明細書から、正規職員が126人、会計年度任用職員のうち、常勤が5人、パートが209人と判断してよいのか。

A そのとおり。

条例

田布施町個人番号及び特定個人情報保護に関する条例の一部改正について

【全員賛成】

【全員賛成】

経済厚生

経済厚生委員会を6月10日に開き、令和3年度一般会計補正予算を予備審査、特別会計補正予算3件および条例1件を審査しました。



経済厚生委員会(6月10日)

補正予算

令和3年度補正予算

●一般会計(予備審査)

Q 時間外勤務について長時間の労働になっていないか。

A 各課月毎に集計している。新聞等で報道されている残業時間はないが決まった部署が残業している。過重労働にならないよう対応する。

Q 子育て世帯生活支援特別

給付金支給事業は対象者に受けとるか受け取らないかを通知するのか。

A そのとおり。一方的に払い込むため国の基準に従う。

Q 特別定額給付金の時も同様か。

A 同意するか同意しないをチェックすることになっていた。

【全員賛成】

●特別会計

国民健康保険

Q 令和2年度の決算見込で不用額が6千万円であるが、繰り入れないなら、余るといふことか。

A 国の補助等が見込より約3千万円多く入ってきたため繰り越して財源となる。

Q 基金が1億2千万円、繰越が6千万円、併せて1億8千万円ある。町民に減税なり還付を考えては。

A 令和4年度に県から示される納付金の見込を鑑み検討する。

Q 少額の補正が多いが決算時にまとめてできないか。

A 今回の補正は窓口で支払う

手数料の組み換えがほとんど。各課各費目毎に組んでいた予算を会計管理費に統一するもの。

【全員賛成】

介護保険

Q 令和2年度の決算見込で、7千7百万円の不用額が出ているが要因は。

A このうち補助金の返還金が5100万円。また、介護給付費は平成29年度までは上昇、平成30年度、令和元年度、2年度は、ほぼ横ばいから減額傾向にある。コロナの影響により利用を控えたことが理由と考える。

【全員賛成】

後期高齢者医療

Q 負担割合が1割から2割になる人の対象者数は。

A 国の試算では約23%。本町では、2880人(令和3年3月末)の23%で、662人程度と予想している。

【全員賛成】

条例

田布施町使用料及び手数料条例の一部改正について

【全員賛成】



6月定例会
一般質問

10人の議員が町政の課題を問う

新町史編さん

進み具合は

河内 賀寿

刊行に向け進行中

東 町長



河内 賀寿 議員

「平成時代」の資料や精査も依頼中。外部からも関連資料の提供をお願いする予定。全体で400ページ(写真・資料含む)、令和7年1月刊行予定。成果品は300部の予定。スケジュールに沿って進行中。

Q 以前、苦勞され完成した田布施町史に平成版が追加されることとなり、作成メンバーも決められたとのことでした。新町史編さんの進み具合はどうか。
A 「田布施町史平成版」の業者契約は準備中。現在、各課単でよいので説明を。内容など分かる範囲で、簡



平成2年発行の田布施町史

ワクチン全町民接種

いつまでの予定か

河内

11月には終えたい町長

Q 高齢者のコロナワクチン接種が、本町も始められている。全町民接種までは、いつまでの予定になりそうか。
A 新型変異ウイルスへの対応など、今後、別の予定になるかもしれないが、現状の説明を。

Q 全町民の接種は、疾患やアレルギー症状などにより、できない方もいるので、100%にはならないが、11月には希望者の概ねの接種を終える予定。集団接種の60歳以上からは6月下旬、個別接種は7月から実施予定。申し込み状況など勘案し、少しでも早く接種が行える努力をする。

総合案内受付

入口に設置しては

河内

検討する

町長

Q 以前から役場に用事があり来庁しても、職員に気付いてもらえず、初めは声もかけて

もらえなかったという体験談を複数聞く。見落とし忘れなどないよう、役場入口に総合案内受付を設置してはどうか。現在のマイナンバーコーナーを兼務し、人員は各課からの交代で十分可能と思う。

A 挨拶の徹底や声かけなど接遇に関する住民サービスの向上は大事。人事評価の目標達成項目の一つとしても取り組む。「総合案内受付」は検討するが、すべての職員が案内



庁舎の正面玄関付近

一般質問

一般質問は、町政全般について、町長など執行機関の考え方や方針を問うたものです。ここでは紙面の都合上、質疑の中から内容の一部要旨を掲載しています。

窓口であるという自覚の意識付けを行うことから、まず改善に努めたい。案内腕章の使用もよい。

期日前投票の活用

選挙投票時間の短縮を

南 一成

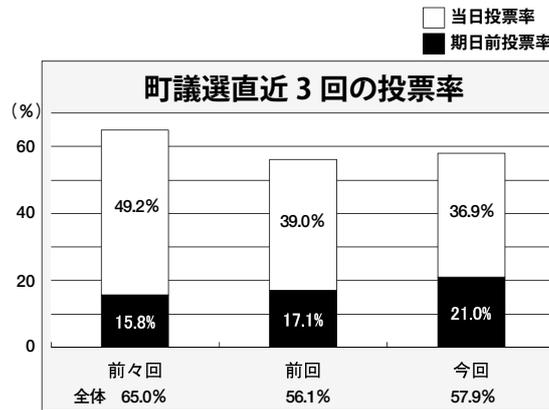
前向きに協議を進める 岩本選挙管理委員長



南 一成 議員

投票は自分の都合で行ける期日前投票が4日間あり毎回着実に投票率は上がっている。逆に投票日当日の午後6時から午後8時は減少しており選挙事務、投票立会人等の経費削減を図るため、終了時間を短縮しては如何か。若者の投票率を上げるため同世代の人を立会人にしては

時間短縮の実現に向けて前向きに検討協議を進めていく。課題は時間短縮に伴う有権者の投票機会の損失である。指摘のとおり期日前投票制度はかなり浸透してきたが様々な時間的制約がある有権者がいるのもう少し議論が必要。若者の立会人はコロナが終息後検討したい。



手続きのワンストップ化 窓口での接遇について

南

分かりやすい案内、表示に

町長

最初に應對する職員の接遇により役場の印象は様々である。階層別研修をされているか、公務員以外の民間研修は、「マイナンバーコーナー」は好評だ。死亡に伴う手続きをコロナで子供が帰れず高齢な遺族の負担を軽減するため「おくやみコーナー」を開設しては。各種研修は受けさせているが他業種による研修も検討したい。町外から通勤する職員が増え仕事やボランティア活動を通じて住民に愛され地域に貢献できる職員を育てる。「おくやみコーナー」による



各課の案内表示

ワンストップ化は1階フロアは手狭で取扱事務が多く難しい。案内文書にて完了させる。

民間企業の活用

買い物弱者を減らす

南

公民館単位で検討

町長



買い物風景

高齢者が気軽に買い物など出来る「買い物送迎サービス」を町で行っているが、民活によっても目的が達成できる。各自治会の班単位のグループで要望があれば町が間を取り持ち駐車場所、曜日、時間を調整し移動店舗車を派遣することである意味「三方よし」となる。
平成26年10月より買い物送迎サービスを運行している。民間の移動販売は便利なサービスである。各公民館単位で、地域住民が地域の課題や生活支援策に取り組む「協議体」などで利用の検討をしている。地域の交流の場にもなり、活用に取り組む。

災害に強い

まち・山・川・海づくりを

瀬石 公夫

予算配分が少なく遅れている

東 町 長



瀬石 公夫 議員



中央雨水1号幹線改修 (本町)

Q 自然災害が発生しやすい時期となった。防災・減災、国土強靱化の取り組みは。

①一本松、本町地区の浸水は解消されたか。②治山事業希望者には十分対応できているか。③灸川、奈良台川及び平田川の氾濫の対応は。④海岸部の高潮、津波対策の進捗状況は。

A ①一本松地区は雨水貯留施設から、田布施川に放流するよう進めている。本町地区は水路の改修を行っている。②事業希望者には要件や概要負担金について説明している。③県に浚渫の要望をし、改修工事も行っている。④国・県の予算配分が少なく、進捗はかなり遅れている。

新型コロナウイルス

感染症対策は

瀬 石

順調にワクチン接種が進んでいる

町 長

Q 山口県では「新型コロナウイルス感染拡大防止集中対策」が実施され、住民には厳しい生活が余儀なくされている。

①高齢者のワクチン接種の完了予定は。②感染力の強い、変異ウイルスへのワクチンの効果は。③庁舎内の感染症対策は。④長引くコロナ禍による支援は十分行われているか。

A ①医療機関の積極的なご協力もあり、順調に進んでいる。高齢者は7月末までに済ませたい。②厚労省によると、小さな変異でワクチンの効果



接種会場運営訓練 (西田布施公民館)

がなくなるといわけではないとしている。③不特定の人が触れる物、場所については一日二回消毒を行っている。④追加支援対策も進めている。

デジタル化は急務

タブレット端末の導入を

瀬 石

ICT技術は加速化と認識

町 長

Q 県はデジタル推進局を設置しデジタル技術で県民の暮らしをより良くしたいとしている。こうした中、町議会のデジタル化は急務であり、情報伝達のスピード化、会議の効率化など町民に開かれた議会が期待できる。議会がタブレ

ット端末を導入すると執行部も必要となるが対応可能か。

A 新型コロナウイルス感染症の広がりの中で、民間でのテレワークやリモートによる授業などが一般化してきている。今後、国のデジタル庁が

設立され、ICT技術を活用した仕事や働き方改革は加速化していくと認識している。執行部の議会出席者に加え各課にも端末は必要となる。

ICTとは

「Information and Communication Technology (情報通信技術)」の略で、通信技術を活用したコミュニケーションを指します。情報処理だけではなく、インターネットのような通信技術を利用した産業やサービスなどの総称です。

第6次総合計画

着実な実施は

高月 義夫

具現化を図る

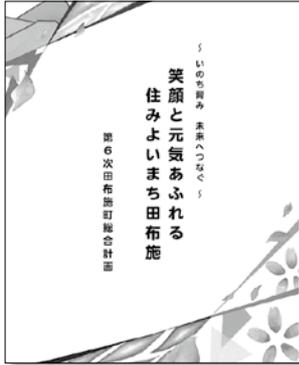
東 町長



高月 義夫 議員

Q 第6次総合計画の基本構想及び基本計画が、3月議会にて議決されて3か月。実施に向けた、第5次総合計画の総括は、3月議会にて答弁された、第6次総合計画を町民、議会と一緒に着実に実行する方法、また現在の実行へ向けた進捗状況と、今後のタイムスケジュールについて問う。

A 第5次総合計画は、総合的検証はないが、財政健全化や実施計画のローリングを毎年行い、実施計画調書を策定・検証した。町民、議会と共に着実に実施する方法として、総合計画の概要版を10日に全戸配布。自治会長との意見交換会を計画。議会には、諸施策や事業の審議をお願いする。



第6次総合計画

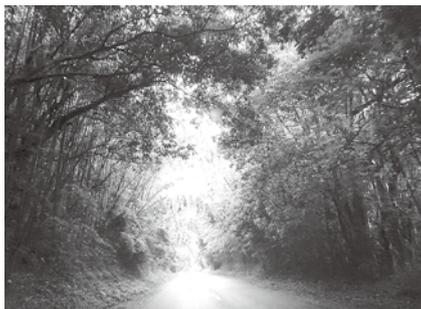
森林経営管理制度

取り組みは 高月

実施地区検討 町長

Q 現在、森林所有者の高齢化や所有者不明による、管理できていない森林が増加傾向。平成31年4月森林経営管理法に基づく森林経営管理制度が制定。町が、所有者に代わって森林経営管理できる可能性が確立された。平成29年作成の田布施町森林整備計画の見直しも含めた対応を問う。

A 森林は、町の面積の半分を占める。森林管理制度は、森林経営管理に町が仲介役として関与できる制度。本年、モデル地区として小行司地域の



未整備の森林

町ホームページ

各課取り組みは 高月

充実を徹底する 町長

Q ホームページは町の思いや考えを、正しく町民に発信する大切な手段の一つであり、町外の方が田布施を知る手段と考える。現在、記事の更新が滞っている部門も見受けられる。町として意義や、各課ホームページ担当者、載せる記事の選定方法など、町としての取り組みを問う。

A 公式ホームページは、平成12年11月開設、行政からの情報が、いつでもどこでも見られる媒体として運用。管理運営は企画財政課。記事について



田布施町ホームページ

は各課事務分掌にホームページ担当者はいないが、それぞれ対応している。情報更新の遅れ、内容の充実は、課長会議等で周知徹底を図る。

新型コロナウイルス！疲弊する事業者

更なる経済支援を

内山 昌晃

まずは消費喚起から

東 町長



内山 昌晃 議員

Q 町のこれまでの子育て世帯や事業者への支援、またワクチン接種も円滑に実施されており医療関係者、町のご尽力に敬意を表します。しかし、未だ新型コロナウイルスによる地域経済への影響は極めて深刻であり、町内事業者は疲弊しきつている。出口の見えない状況の中、追加の経済支援は。

A 8月上旬から全住民に「地域応援商品券」、子育て世帯に「子育て応援商品券」を配布し、地元消費喚起を促す。また、商工会と連携し事業者の要望を聞き取り、町独自の追加の緊急経済対策を関係課に指示している。

防災・減災対策

災害弱者に配慮を

内 山

自助・共助で

町 長

Q 災害対策基本法が改正されまた、中央公民館を防災センターとして建て替えるため今年度設計の予算が計上されている。これらを踏まえ次の4点を質問する。①避難計画の見直しは②福祉避難所の設置状況・運用方法は③災害弱者の避難方法は④新型コロナウイルス感染者等の避難先は。

A ①要配慮者利用施設には法改正に対応した避難計画、避難訓練の実施を、防災センターは災害対策本部としても活用。②福祉避難所は西公民館

に設置。要支援者に町から連絡。③現在25名が登録。民生委員や自主防災組織の協力を得て取り組む。④各避難所に部屋を確保し保健師が待機。



防災センター建設予定地 (中央公民館)

県立高校再編

かけがえのない地域の財産

内 山

熊毛郡で連携する

町 長

Q 県立高校将来構想検討協議会が立ち上がり年度内にも熊毛南高校再編決定の話がある。もし統廃合されれば地元にとつて地域の歴史、かけがえのない財産を失うこととなる。特色ある学校として子どもに選ばれるため地元自治

体、民間企業等と連携して取り組む必要があると考えるが。

A 歴史と伝統ある地域の高校であり、熊毛郡内唯一の普通高校であることから子どもの進路選択の幅が狭くならないよう県のアンケート結果を参

考に平生町、上関町とも連携を図り、高校存続について要望していく。民間との連携については状況により検討する。



熊毛南高等学校

新型コロナウイルスワクチン

接種状況は？

落合 祥二

順調にいつている

東 町長



落合 祥二 議員

から開始する。その他の人は、その後順次、案内していく。スケジュールは、大まかなものが示せるよう検討する。

ワクチン接種券の発送スケジュール

対象者	接種券の発送日	予約受付開始	接種時期
55～59歳 (S37.4.2～S42.4.1生)	6月25日	6月30日	予約受付時に お知らせします。
40～54歳 (S42.4.2～S57.4.1生)	7月9日	7月16日	
16～18歳 (H15.4.2日～H18.4.1生の 高校生年齢相当)		7月9日	詳しいことは、 別途お知らせします。
12～15歳 (H18.4.2～H21.6.30生の 小・中学生)			
12歳 (H21.7.1～H22.4.1生の 小学生)	誕生日の翌月		詳しいことは、接種券 発送時にお知らせします。
19～39歳 (昭和57年4月2日～ 平成15年4月1日生)	7月16日		

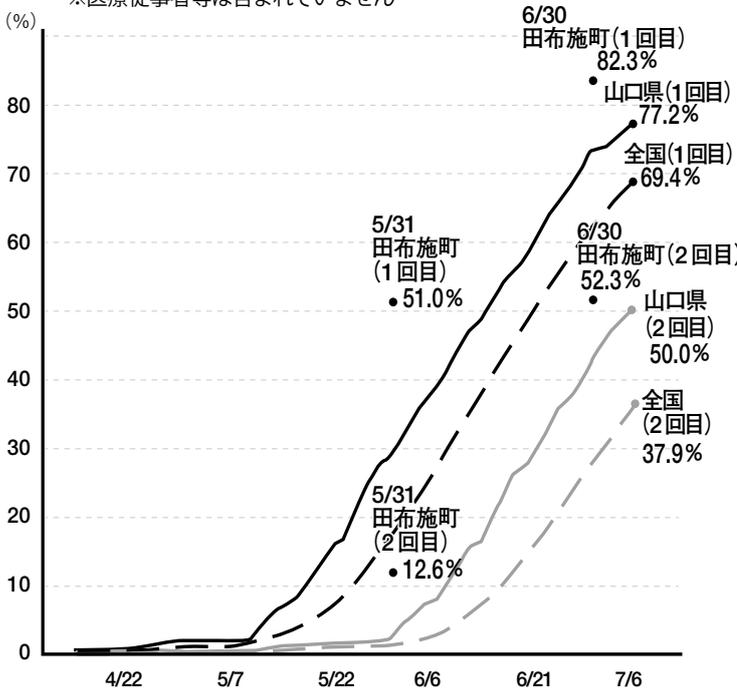
町の資料(R3.7.9現在)より

Q ワクチン接種は町民の命と経済を守る最重要課題。一刻も早い接種が求められている。まだ接種していない町民は、いつになったら接種できるのかと不安に思っている。接種の状況は。スケジュールを公表したらどうか。また、接種の加速を図る戦略が必要と思うが、どうか。

A 65歳以上の高齢者は、5月末現在で1回目の接種を終えた人は51.0%、このうち2回目の接種を終えた人が12.6%。基礎疾患のある人、60歳から64歳の人は、6月22日

ワクチン65歳以上の高齢者接種率の推移

※医療従事者等は含まれていません



デジタル改革

本町の推進体制はいつか

落合

進捗状況をみて検討する 町長

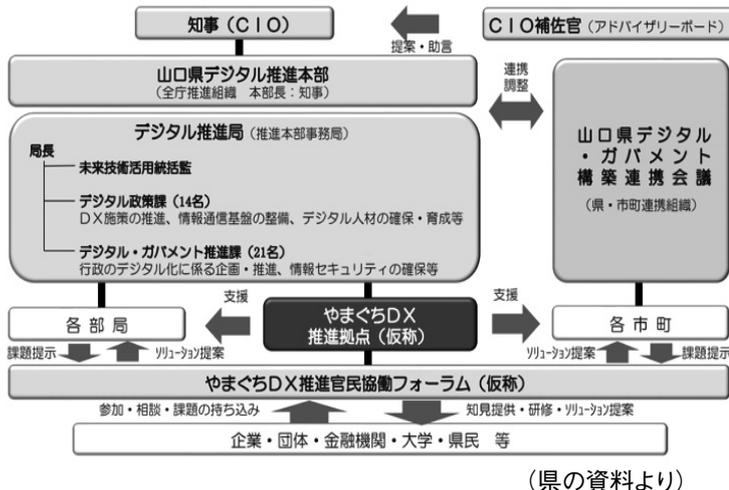
Q 国は今年9月にデジタル庁の発足を目指している。一方、県は今年4月に総合企画部に設置した。本町の第6次総合計画の基本計画の中に「国や

外部専門人材の任用についても検討する。

A デジタル庁の動向を注視し、また、県及び県内全市町で構成される実務者レベルのワーキング・グループ会議が3つ設置されているので、その進捗状況等を踏まえ、推進体制の構築時期を検討する。一方、デジタル人材の育成、

山口県デジタル改革の推進体制

庁内の推進体制はもとより、市町や民間等との連携・協働体制を以下のとおり構築の上、官民が一体となって改革を実行



(県の資料より)

コンプライアンス行動指針

適用範囲は

國本 悦郎

指針や要綱・要領等、国からの通知も含む

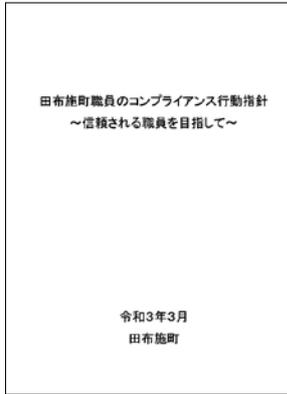
東 町長
鳥枝教育長



國本 悦郎 議員

Q ①職員が通知に基づき調査して上司に進言し、町が何ら対応しなかった場合、議員等に知らせると情報漏えい、信用失墜行為に該当するか。②今回の行動指針は他の自治体のそれをコピペして置換し、倫理的に問題有りと思うが、変更のつもりはないか。③学習指導要領の位置づけは。

A ①今回の町が対応しなかった課税ミスを外部へ知らせたケースは、情報漏えい、信用失墜行為に該当しない。②他の自治体のもので似ていても内容的にいいと思って決裁した。すでに職員研修をし、これに沿って仕事しているので変えるつもりはない。③法律としての性格を有している。



コンプライアンス行動指針

外来植物

オオキンケイギクの駆除を

國本

協力を呼びかけ

町長
教育長

Q オオキンケイギクは、特定外来生物に指定され、生きのままの運搬や栽培、譲渡などが原則として禁止されている。①教育委員会管轄の公共施設内での植栽の実態は②他の自治体のようにHP等で、町民の協力を得て町内に散見するオオキンケイギクの駆除の周知はできないか。

A ①教委関係施設内のオオキンケイギクの生育実態について確認したが、植栽している施設や箇所はなく、一部自生したものも駆除した。②公共施設において生育が確認された場合、速やかに駆除を行うとともに、町民には、HP等で駆除の協力について呼びかけを行いたい。

太陽光発電

公共施設に導入を

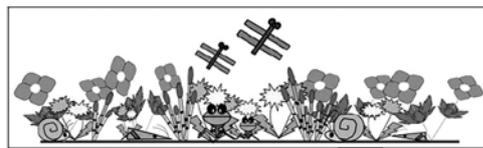
國本

導入する予定

町長
教育長

Q ①町では、環境省の再生可能エネルギー等導入推進事業を活用し、2ヶ所に太陽光発電設備と蓄電池を設置しているが費用対効果は。②(仮称)中央防災センターや麻里府公民館の移転に取り組むというが、国の施策を受け、この両施設に太陽光発電設備を導入する考えはあるか。

A ①災害時等の非常時に必要なエネルギーを確保するために設置したもので、費用対効果の面については示すことが難しい。②現在計画している(仮称)中央防災センターに導入する予定としているが、導入方法等は、議会とも相談し検討したい。他の施設への導入は未定。



さまざまな生物がいる場所にオオキンケイギクが侵入してしまうと...



旺盛な繁殖力で、他の植物の生育場所を奪ってしまう。餌にしていた植物が無くなると動物もいなくなる可能性もある。

(提供:九州地方環境事務所)

災害に強いまちづくり目指し

水路・河川の整備について

神田 栄治

着実に整備中

東 町長



神田 栄治 議員

Q ①洪水ハザードマップの内水常襲地区以外で、浸水が予想される地区はどこか。②現在、整備中の水路工事の完成時期はいつか。③現在のハザードマップの想定を超える豪雨災害への対応方法は。④灸川、新堀川の改修について⑤防災行政無線の難聴対策は。

A ①駅裏と由免・波野交差点周辺②本町地区は、さくら橋通り線まで約10年。助政地区は、今年度から工事着手。浜城地区は、数年で整備完了予定。③一日532ミリ想定で、マップを改訂。④毎年、県へ改修・浚渫を強く要望中。⑤テレホンサービスや、メール配信サービスの利用を。



平成21年の浸水被害(一本松)

新型コロナ禍対策として

各種事業者への経営支援は

神 田

実施に向け準備する

町 長

田布施町新型コロナウイルス感染症に関する町独自地域支援対策

配布商品券

No. 0000000

お買い物は田布施町で。

田布施町子育て応援商品券
見1,000円
有効期間 令和3年8月1日～令和4年1月31日
発行/田布施町商工会

田布施町地域応援商品券
見1,000円
有効期間 令和3年8月1日～令和4年1月31日
発行/田布施町商工会

がんばれ田布施!

取扱店

本券使用期間
令和3年 8月 1 日から
令和4年 1月 31 日まで

<発行> 田布施町商工会

商品券ポスター

Q 昨年度、コロナ禍対策として子育て世帯や各種事業者への支援をし、今年度も全町民、子育て世帯に商品券を配布するが、コロナ禍が長期化し、当町でも感染者が発生し、特に飲食店等は、深刻な打撃を受けている。昨年度実施した各種事業者向けの支援を再度実施できないか。

A 新型コロナウイルス感染症の終息が、見通せない中、ワクチン接種は順調に進んでいるが、経済への打撃は深刻。今年度は、消費喚起のため8月上旬から地域応援商品券や子育て応援商品券を配布する。昨年度実施した複数の支援対策についても、実施に向け準備を進める。

灸川洪水対策

緊急用貯水池建設を

西本 篤史

建設する予定は無い

東 町長



西本 篤史 議員

Q 梅雨時期の大雨には「田布施町灸川警戒水位を越えまし」とTVのテロップを目にする。2005年には灸川が決壊し浸水被害が発生した。その後、洪水対策として川の浚渫工事を繰り返し行ったが、また土砂が溜まってしまふ。洪水対策で、灸川周辺に緊急用貯水池を建設してはどうか。



警戒水位を超えた灸川(大波野地区)

A 河川管理者の山口県に灸川の全体計画を確認したところ、現在の計画では、緊急用貯水池を建設する予定は無いとのことでした。従って、今後の灸川の改修状況等により、今後、県への要望事項の一つにするか否か検討したいと思ふ。

太陽光発電設備

学校・庁舎に設置するのか

西 本

中央防災センター(仮称)へ
設置の方向

町 長



2005年灸川の堤防決壊(柳井側)



田布施町役場

Q 国は2030年度に太陽光発電容量を現状の約2倍に増やす計画で、自治体には学校や庁舎など公共施設にも太陽光発電の導入を広げる方針である。町は「太陽光発電設備の設置・管理に関する要綱」を制定しており整合性を求められる。学校、公共施設に設置は可能か。

A 公的施設への太陽光パネルの設置は、施設が所要の強度を満たしているかを調査するが、現在計画中の(仮称)田布施中央防災センターについては、屋根に設置の方向で考えている。
既存の学校・庁舎の屋上設置は強度、雨漏りの関係で設置は考えていない。



東田布施小学校

Q 新型コロナウイルスが発生して2年目に入り、町内商工業者の打撃は深刻で、中でも小売り、飲食、仕出し、タクシー等の事業所は非常に厳しい状況に陥っている。今回商工会で調査を実施した結果、85%の業者が売上減か横ばいであった。何とか去年同様の支援が出来ないか。

A 今年度は、全世帯住民配布の「地域応援商品券」子育て世代配布の「子育て応援商品



伊村 渉 議員

町独自の緊急支援に取り組む

東 町長

緊急支援が出来るか

伊村 渉

コロナ対策、町内事業者の支援は

券」の実施、コロナウイルス感染症で影響を受けている地域経済の活性化を図り、生活応援及び地元消費の低迷回復支援を準備中。現在町独自の追加緊急経済対策を出来るだけ早く取りまとめている。

- 1.調査対象
小売り、飲食、仕出し、タクシーの26事業所(商工会員)
- 2.調査内容及び結果
- (1) コロナ前、前年度と比べて売り上げはどうか
- ① 売上増 4事業所(15%)
 - ② 横ばい 7事業所(27%)
 - ③ 売上減 15事業所(58%) } 22事業所(85%)
- (2) 町に求めること(事業者の声)
- ・ 給付金、補助金があれば助かる 9件
 - ・ 消耗品の支給(マスク・アルコール) 2件
 - ・ 固定費部分の支援(借家、借地) 2件
 - ・ コロナ対策補助金(清浄機・エアコン) 1件
 - ・ 固定資産税等、税金面での優遇 3件

田布施町商工会による電話聞き取り調査結果
(令和3年5月中旬以降)

議会掲示板

議員の仕事は何だと考えておられますか。住民代表である議員は、みなさんの意見を行政に反映させることも必要です。予算、決算などを通して行政のチェックをする。税や使用料の収入のチェック、自主財源や国、県からの補助金(依存財源)の支出のチェック、行政運営が田布施町民のために、お金の徴収や支出が適正になされているかを判断することが、最も重要な仕事と言えるのではないでしょ

うか。

行政のチェック機能強化のため、職場の理解から勉強を始めることを計画し、実行しています。業務内容を説明する職員は各職場の中堅職員とし、説明者には通常の仕事以外の負担となりそうですが、この経験は今後役立つと思えます。将来、住民説明会の役割も考えられます。議員への説明は自信となるでしょう。レベルアップを目的とする勉強会は、住民、職員、議員にとつて、「三方よし」の関係と思えます。

議会を傍聴してみませんか

議会では、皆さんの生活に密着した重要な問題が審議されています。身近な町政を知るため、また、議員の活動や町議会の様子を知るためにも、議会を傍聴してみませんか。

【問合せ先】

議会事務局 ☎ (52-5800)

9月定例会の日程(予定)

7日	本会議(初日) (一般質問)
9日	決算審査特別委員会
13日	経済厚生委員会
15日	総務文教委員会
17日	本会議(最終日)

※いずれも午前9時から

※正式には9月2日の議会運営委員会で決定されますので、ご確認下さい。

■勉強会スケジュール

令和3年 4月	三役との懇談会	9月	学校教育課
5月	総務課	10月	健康保険課
6月	町民福祉課	11月	税務課
7月	企画財政課	12月	建設課
8月	経済課	令和4年 1月	社会教育課

議会だより149号を読んで

◆お礼◆
議会広報広聴モニターの皆様にはご多忙中にもかかわらず、
毎号貴重なご意見やご感想をいただき厚くお礼申し上げます。

◇開かれた町議会へ

高月 圭子

新体制でスタートした初めての議会だよりが、最後のモニターとなりました。

表紙の田布施川の桜の写真が白黒で残念でした。見る人の気持ちを明るくし、興味を引く為にも、予算を優先して表紙の写真はカラーにされることを切に希望します。

予算審議のページはじっくり読んでも、よく分からない項目が多かったのですが(汗)大きな見出しの下に書かれた医療費助成が中学校3年生まで拡充されたことに関心を持ちました。少子化対策は緊急の課題で、更なる子育て支援の拡充を期待しています。

最後にモニター期間中に議会の傍聴ができず残念でした。多くの町民が町政に関心を持ち、積極的にかかわっていく為にも、開かれた議会が求められています。今後はネットで議会中継や動画配信を活用して、議会運営を町民に伝えることを実現して欲しいです。

◇第6次総合計画

吉井 浩憲

田布施川の春の景色は素晴らしい、ある桜はたおやかに、また華やかに咲き乱れます。白黒でもつたいない、表紙はカラーにして欲しいですね。

手にとると表紙だけでも楽しいからです。1ページでも開いてくれれば素敵な人なので。この風景の中に町民の姿があり、日常があれば一段と親しみ易くなります。

住民と共に歩む議会だよりであるよう願っています。

今号は新しい体制での町政のスタートです。また、コロナ渦中のなか、町民、議会、執行部や島根県から専門家も参加、ファシリテーションを導入したりと苦労して作り上げた第6次総合計画もいよいよ実践です。虎の巻を開いては読み直し、一歩一歩前進してほしいと思います。当然、町民が主役、行政と共に両輪となっていくかねばなりません。町民にはわかりやすい情報をお願いしたいと思えます。

◇よりよい田布施に期待

藤田 枝里香

前回、議員の方が覚えられないので顔写真をいと述べたのですが、選挙後ということでご全員の写真が拝見できてよかったです。

さて知人から、定例会の内容が詳細に載っておらず、全員反対・賛成とだけでは不親切。とのこと。しかし今回の定例会のページは一言説明があり、少し内容が伝わりました。私がとても良いなと感じたのは、賛成・反対の両方の討論が掲載されていたこと。イエスマンだけではなく進展があります。

直接プレイヤーでない私たち町民も両方知れることで、多方面からの角度で思考ができ、それから議論を重ねて、よりよい町づくりが出来るのでは、と思います。

議会だよりで初めて知る内容が多かったですが、モニターでなければ見逃してしまいそうです。多岐にわたる分野が議論される議会。いつか傍聴してみたいと思います。他のモニターの方も言われてましたが、議会のIT化なども期待しています。

◇新議会に期待

河村 千鶴子

5月第2日曜日は環境美化推進で町内一斉清掃でした。私達の所は道路の除草が主です。町内では排水路や河川などの土砂をトラックに積み込み除去されてきました。一緒に作業する姿は、美しい町づくりワンチームだと思います。地域のことが大事だと思いました。

議会だよりは「新議会体制スタート」で始まりました。提出された議案を審議した内容が紙面いっぱい記載されています。一般質問は活字の大きさや写真、余白があり読みやすいです。また、身近な町政を知るため、議員の活動や町議会の様子を知るために議会傍聴に出掛けてみたいと思いました。

新議会に望むことは、先達がつくり上げてきた良いところは伸ばして、「笑顔と元気あふれる住みよいまち田布施」を目指す新たな挑戦に期待します。

◇遠い未来の田布施の姿は

山本 裕美

表紙の美しい桜に、こころ癒されました。カラーでしたらもつときれいでしょね。自然界は毎年変わらぬ美しく、あわてふためいているのは人だけのようです。

新たに当選された、フレッシュユナメンバーを迎えての初議会。読む方にも力が入ります。どの議員もしっかりと質問をされていて、これまで聞き取りや調査勉強などをした上で、自分の考えをまとめて来られたことがうかがえました。

今号で気にかかったのが、総合計画についてです。長期の目標が5年!?町のビジョンが、そんな短いスパンで決まっていたとは！ネイティブアメリカンとは物事を決める時、七世代先のことを考えるといます。田布施の町も七世代とまではいいませんが、せめて数十年先のことをくらは見えてほしい。ビジョンをかかげ、それを実現するために、今なにをすることが必要なのか、そういう考え方で施策を決めてほしいと思いました。

議員リレー随筆

久しぶりのカメラ

初めて一眼レフカメラを買ったのは、約30年前。商工観光課へ異動し、仕事で必要だったからだが、子供が生まれると、もっぱら被写体は子供に。運動会では、朝一番、我が子



神田 栄治

の撮影に最適な場所取りをしたのが懐かしい。当時は、フィルムカメラなので、写真の現像代もばかにならないのだが、なんのその。子供が成長すると、撮影はつい後回し。定年退職をして約1年、本屋でふと見たカメラ雑誌で食指を動かされるカメラを見つけ、ミラーレスの中級機を購入した。孫はまだいないし、当面は近所の猫でも撮りましょうか。

なぜ 田布施西小？

なぜ西小は西田布施小学校ではなく田布施西小学校なのか。その理由は、田布施西小学校が西田布施小学校、国木小学校、竹尾小学校の3校が統合してできた学校だからだ。



落合 祥二

昭和36年（1961年）の統合当時の住民感情として、編入でなく対等統合が望ましいとの判断から、校名が既にあった西田布施小学校でなく田布施西小学校になったのだろう。私は、小学校2年の一学期までは国木小学校に、二学期から田布施西小学校に通った。これから新しい校舎で学べること、一度に同級生が増えたことなど嬉しかった記憶がよみがえった。

昭和36年（1961年）の統合当時の住民感情として、編入でなく対等統合が望ましいとの判断から、校名が既にあった西田布施小学校でなく田布施西小学校になったのだろう。私は、小学校2年の一学期までは国木小学校に、二学期から田布施西小学校に通った。これから新しい校舎で学べること、一度に同級生が増えたことなど嬉しかった記憶がよみがえった。

発見！クイズ

たぶせ？

郷土資料館になる前は、何の仕事をする建物だったでしょう。



ヒント

結婚式のお祝いや大学の合格を伝えることも仕事の一部でした。

前号の正解は『4ヶ所』でした。

歩車分離式信号機は砂田・祇園・波野・岸田の交差点にあります。

応募方法

ハガキに①答え②郵便番号・住所・氏名・性別・年齢・電話番号をご記入のうえご応募ください。

●宛先 〒742-1592

山口県熊毛郡田布施町大字下田布施3440-1 田布施町議会事務局 宛

●応募締め切り 令和3年8月31日

●Eメールからもご応募できます gikaijimukyoku@town.tabuse.yamaguchi.jp

正解の中から抽選で3名様に千円分の図書カードをお送りします。

なお、正解者の発表は発送をもってかえさせていただきます。ご了承ください。

議会広報

モニターが

決まりました

「議会だより」を1人でも多くの人に読んでいただければ、ようモニター制度を設けて、感想や意見をいただいております。

6月1日から新たに5名の方を迎え、町内5地区より10名の方々に今回発行の第150号から1年間モニターをお願いすることになりました。どうぞよろしくお願います。

(敬称略)

- | | | |
|----|-----|-------|
| 山本 | 小夜子 | (吉井) |
| 添郷 | 明子 | (川西) |
| 村田 | 泰己 | (塩坪) |
| 岡田 | 澄江 | (配原) |
| 松根 | 宏次 | (御蔵戸) |
| 河村 | 千鶴子 | (竹尾) |
| 驛重 | 寛和 | (新川) |
| 有清 | 宏見 | (奈良) |
| 殿明 | 文久 | (上組) |
| 濱田 | 秀樹 | (中郷) |

「たぶせ議会だより」150号を発刊

「たぶせ議会だより」をご愛読いただきありがとうございます。

町議会だよりは、議会の活動状況を町民の方にお知らせするため、年4回（4月・7月・10月・1月）発行してまいりました。昭和59年7月に創刊してから本号をもちまして、区切りとなります150号を迎えることができました。

創刊から現在まで、試行錯誤を繰り返しながら、「分かりやすく読みやすい」をモットーに紙面づくりに努めてまいりました。

今回は、150号を記念する特集として「たぶせ議会だよりのあゆみ」を紹介させていただきます。

これからも、引き続きご愛読していただけるように発行してまいりますので、よろしくお願いたします。

S59	創刊（7月20日）①
S62	9号 町村議会広報コンクール佳作
H 1	17号 町村議会広報コンクール佳作
	19号 表紙（裏・表）のカラー印刷開始
H 3	24号 町村議会広報全国コンクール入選
H 6	35号 町村議会広報全国コンクール奨励賞
H 8	50号 記念企画（アンケート・座談会実施）
H 9	〃 町村議会広報全国コンクール奨励賞 ②
H10	53号 町村議会広報全国コンクール奨励賞
H11	57号 町村議会広報全国コンクール優秀賞（5位）
H12	61号 町村議会広報全国コンクール優秀賞（2位）
	63号 活字ポイントを8から10、縦の文字数を12から11に変更
H13	65号 町村議会広報全国コンクール最優秀賞 ③
H14	74号 議会広報公聴モニター（10名）制度開始 ④
H15	77号 活字ポイントを10から11に変更
H18	89号 表紙（裏・表）を2色刷に変更
H21	100号 記念表紙カラー ⑤
H26	121号 中刷りを1色刷に変更
H30	139号 発見！クイズたぶせ？掲載 ⑥
R 2	145号 活字ポイントを11から12、縦の文字数を11から13に変更
R 3	150号 段組みを6段から5段に変更



編集後記

議会だより創刊号から37年。今回150回の記念号を発刊いたしました。発刊に当たり、携わられた先輩議員方の思い、真摯に取り組まれた様子をお聞きました。

議員同士額を寄せ合い、夜中まで発刊に向け粉砕身され取り組まれたこと。町民の皆様へ議会の思いを正しくお届けするため、自弁自費で遠方まで研修に行かれ、議会だよりの充実に努められた先輩議員。積み重ねられた努力によって、現在の議会だよりがあります。

私達新人議員もその思いを真摯に受け止め、誓いを新たに歴史を紡ぎます。

議会広報委員会

- 委員長 河内 賀寿
- 副委員長 高月 義夫
- 委員 谷村 善彦
- 〃 内山 昌晃
- 〃 落合 祥二
- 〃 神田 栄治